

平成24年(ワ)第3671号外 大飯原子力発電所差止等請求事件

原告 竹本 修三 外

被告 国 外1名

## 証拠説明書

(第67準備書面関係)

2019年(令和元年)11月25日

京都地方裁判所 第6民事部合議はB係 御中

原告ら訴訟代理人

弁護士 出口 治 男

同 渡辺 輝 人  
外

原告らは、下記のとおり証拠説明をします。

記

号証	証拠の標目 (原本・写しの別)	作成年月日	作成者	立証趣旨
506	岩の力学 基礎から応用まで (抜粋) 写し	平成5年12月31日	日本材料 学会	岩盤の力学挙動は岩石が示すそれとは本質的に異なること、岩盤については構成材料(岩石)の特性を知って目的とする構造物全体の力学挙動を予測するといった力学の図式は単純にあてはまらないこと、硬岩では現地における不連続面の評価がより重要となること等
507	ホームページ(「岩の判別」) 写し		社団法人 日本機械 土工協会	RQDによって岩石の砕け易さと岩盤不連続面の頻度に関する情報が得られること、不連続面の多寡を定量的に表現することができ、よりよく岩質を表すことができること等

号証	証拠の標目 (原本・写しの別)	作成年月日	作成者	立証趣旨
508	RQDと弾性波速度 写し	1979年	杉本卓司	RQDと弾性波速度との関係、近似的に相関関係にあること等
509	美浜発電所 地下構造評価について 写し	平成27年7月31日	被告関西電力	被告関西電力が、「RQDが小さい深度及び孔径が大きい深度、つまり割れ目が多く、地質的に脆弱な深度においてVpと密度の低下が確認された」と述べ、RQDの小さい層が低速度層であることを認めていること等 (被告関西電力が大津訴訟において乙C35として提出したもの)
510	大飯発電所の地盤構造について ー岩盤の亀裂および断層破碎帯に伴う地震波速度の低下ー 写し	2019年10月7日	赤松純平	被告関西電力準備書面(22)の誤り